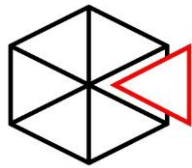


ひとづくり と 地域づくり の デザイナー “ウェルビー・デザイン”

一般社団法人 Wellbe Design

2024 年度 事業報告

Wellbe Design（ウェルビー・デザイン）は、コミュニティ・ソーシャル・ワーカー（CSW）を目指す人とCSWを育てる機関、CSWとして実践する人と組織を支援し、地域福祉の底上げを目指す組織です。



目次 index

1. はじめに	- 3 -
2. 事業報告	- 4 -
1) コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業	- 4 -
2) 地域福祉人材の育成に関する事業	- 13 -
3) 地域福祉活動の推進に関する事業	- 22 -
4) 研究活動への支援等に関する事業	- 25 -
5) 地域福祉活動等の可視化及び広報活動支援に関する事業	- 27 -
6) 各種団体に対する事務局等の支援に関する事業	- 30 -
7) その他の事業	- 33 -
8) 法人運営事業	- 40 -
3. あしあと	- 41 -
4. 収支決算	- 43 -
5. わたしたちの取り組み	- 47 -
6. 定款	- 48 -
7. 役職員紹介 Staff	- 52 -
8. ご支援（会員登録）のお願い Support	- 53 -
9. 事務所在地 Office	- 56 -

1. はじめに

2012年6月1日に産声を上げた当法人は、発足から13周年を迎えました。2021年度からの10年はこれまで蓄積した経験値を更に高めながら、①コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業、②地域福祉人材の育成に関する事業、③各種団体に対する事務局等の支援に関する事業の3つを主要事業と位置づけて事業を行っています。

2024年度は、これら3つの主要事業の連動性を踏まえた事業展開を意識し、「避難行動支援体制の構築（個別避難計画の作成）×地域包括ケアシステム」、「地域福祉の推進基盤の強化（社会福祉協議会活動への支援）×地域包括ケアシステム」、「福祉教育の推進×福祉人材の育成」に取り組んだほか、各種税制等への対応と広報活動といった法人内部の取り組みを進めてきました。

2022年の法人設立10周年を記念して開催した「市町村社協職員基礎講座」は、2024年度も9道府県から延135名に参加いただき、これまでの3年間で延べ434名にご参加いただきました。また、道内の福祉教育推進員の有志で結成した「北海道の福祉教育・ボランティア学習を学び合う会」の事務局運営をとおり、年間を通して福祉教育実践者の支援にあたるなど、地域福祉に欠かすことのできない学びを提供し続けてまいりました。

この度、法人設立13期目となる2024（令和6）年度（2024年4月1日～2025年3月31日）の当法人の全事業が完了し、本事業報告書を作成いたしました。当法人では設立当初より、以下の7つの事業を軸に「地域研究」「地域開発」「人材育成」の包括的プロジェクトを全国各地で行っており、本報告書においても、これらの事業ごとに活動をまとめています。

- 1）コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業
- 2）地域福祉人材の育成に関する事業
- 3）地域福祉活動の推進に関する事業
- 4）研究活動への支援等に関する事業
- 5）地域福祉活動等の可視化及び広報活動支援に関する事業
- 6）各種団体に対する事務局等の支援に関する事業
- 7）その他の事業

この一年、当法人にお力添えをいただきました多くの皆さまに心より感謝申し上げますとともに、2025年度も更なるご指導とご厚情ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月1日

一般社団法人 Wellbe Design

理事長 篠原 辰二

2. 事業報告

(以下、敬称略)

1) コミュニティ開発及び支援活動等に関する事業

契約等に基づき、特定の地域及び組織機関等のコミュニティ形成支援や研究、開発、支援活動を行っています。

① 自主事業

-01. 道内社協向け災害時避難行動要支援者に対する個別避難計画作成説明会

主 催 一般社団法人Wellbe Design
実施日 2024年10月30日
内 容 内閣府の補助を受け、北海道が実施する個別避難計画作成モデル事業のアドバイザーを務めている経験を、道内市町村社協に還元するためにオンライン説明会を開催。
参加者 5社協（石狩市、士別市、美幌町、旭川市、登別市）

② 委嘱等に基づく事業

-02. 札幌市地域福祉社会計画審議会

依頼者 札幌市（保健福祉局）
期 間 2019年4月1日～2025年3月31日
内 容 札幌市が2024年に策定した「札幌市地域福祉社会計画」に係る評価・分析や策定を担う審議会の委員（副会長）に、当法人篠原理事長が委嘱を受け参加。なお、任期満了に伴い、2025年3月31日をもって委員（副会長）を退任。
■審議会
・2025年2月17日
参 考 <https://www.city.sapporo.jp/chuikufukushi/keikaku/>

-03. 札幌市まちセンアドバイザー

依頼者 札幌市（市民文化局市民自治推進課）
期 間 2020年6月1日～2025年3月31日
内 容 札幌市内88か所のまちづくりセンターを拠点とした地域のまちづくりを進めるためのアドバイザー派遣事業におけるアドバイザーに就任。
参 考 <https://www.city.sapporo.jp/shimin/jichi/machisen/top.html>

-04. 民生委員児童委員協議会のあり方に関する検討委員会

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟
期 間 2024年6月1日～2025年3月31日

内 容 同連盟から委嘱を受け、民生委員のなり手不足、次代を担う人材の確保、支え合う民児協づくり、研修の質の担保など、現在直面している多岐にわたる今日的課題を検討する会議へ参画。

・2024年4月24日 ・2024年7月9日 ・2024年12月16日 ・2025年3月5日

-05.地域づくり加速化事業アドバイザー業務

依頼者 厚生労働省 北海道厚生局

期 間 2024年7月2日～2025年3月31日

内 容 厚生労働省が実施する「地域包括ケアシステムの進化・推進にむけた広報・伴走支援を行う地域づくり加速化事業」において、伴走的支援アドバイザーの委嘱を受け、モデル自治体である北海道芽室町に対する支援を実施。

・2024年4月8日 打ち合わせ（北海道厚生局）
・2024年7月29日 スキルアップ研修
・2024年8月20日 1回目支援前会議（0.5mtg）
・2024年9月6日 1回目支援（1.0mtg）現地支援
・2024年10月30日 2回目支援前会議（1.5mtg）
・2024年11月13日 2回目支援（2.0mtg）現地支援
・2025年1月10日 3回目支援前会議（2.5mtg）
・2025年1月21日 3回目支援（3.0mtg）現地支援
・2025年2月28日 支援者間ミーティング
・2025年3月6日 報告会
・2025年3月19日 打ち合わせ（北海道厚生局）

-06. 北海道災害時避難行動要支援者個別避難計画作成モデル事業

依頼者 北海道保健福祉部総務課

場 所 道内各所及びオンライン開催

内 容 内閣府の補助を受け、北海道が実施する個別避難計画作成モデル事業のアドバイザーを務め、各市町村に対する支援や研修会等の講師を担当。

■全体研修会

・2024年9月9日 ・2025年3月3日

■未策定市町村を対象とした基礎研修会

・2024年8月2日

■個別相談会（ヒアリング）

・2024年6月28日 西興部村
・2024年8月2日 美幌町、浜頓別町
・2024年8月26日 占冠村

■個別訪問

・2024年8月21日 浜頓別町、天塩町
・2024年8月28日 浦幌町、大樹町
・2024年8月30日 利尻富士町、利尻町

- ・2024年9月17日 幌加内町、剣淵町、和寒町
- ・2024年9月27日 清里町、鶴居村
- ・2024年9月30日 京極町、真狩村
- ・2024年10月4日 興部町、西興部村、滝上町
- ・2024年11月6日 浜頓別町、中頓別町、美深町
- ・2024年11月20日 鹿追町、置戸町、訓子府町
- ・2024年12月18日 苫小牧市、白老町
- ・2024年12月20日 占冠村、中富良野町
- ・2025年2月13日 幌延町、初山別村、浜頓別町

■モデル自治体支援

- ・幌延町：打ち合わせ 2024年6月28日
- 現地支援 2024年7月5日 2024年8月21日
- 2024年11月6日 2025年2月13日

■打ち合わせ

- ・2024年5月22日 2024年8月19日 2025年2月27日

参 考 <https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/r6modeljigyo.html>

-07. 誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業アドバイザー業務

依頼者 さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール
札幌市（保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課）
期 間 2020年8月1日～2025年3月31日
場 所 札幌市
内 容 札幌市から同事業を受託している「さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール」から外部アドバイザーの委嘱を受け、会議へ参画するとともに研修会における講話を担当。

■アドバイザー会議

- ・2024年6月18日 2024年11月26日 2025年3月6日

■令和6年度災害に備えた地域での支え合い研修会

- ・2024年10月29日

参 考 <https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/anshinnomati/index.html>

-08. 介護予防活動普及展開事業アドバイザー業務

依頼者 北海道（保健福祉部高齢者支援局）
期 間 2024年8月2日～2027年3月31日
内 容 厚生労働省老健局老人保健課が所管する「介護予防活動普及展開事業」について北海道庁からアドバイザーの委嘱を受け、道内各市町村への支援を実施。

■打ち合わせ

- ・2024年6月12日

参 考 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index.html

③ 委託契約等に基づく事業

-09. 第1次吉備中央町地域福祉活動計画の履行に向けた小地域福祉活動の展開に関する アドバイザー委託業務

依頼者 社会福祉法人吉備中央町社会福祉協議会

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

場 所 岡山県吉備中央町

内 容 2023年4月策定の「第1次吉備中央町地域福祉活動計画」を効果的に履行するため、小地域福祉活動の展開と地区担当制度の導入に向けたアドバイザー業務を受託。

・2024年4月18日 ・2024年5月24日 ・2024年7月19日 ・2024年9月20日
・2024年11月29日 ・2025年1月24日 ・2025年3月28日

参 考 <https://www.fukushikibichuo.jp/01about/01about.html#tiiki>

-10. 歌志内市生活支援体制整備事業アドバイザー業務

依頼者 歌志内市保健福祉課

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

場 所 歌志内市

内 容 市地域包括支援センターが実施する、生活支援体制整備事業に関するアドバイザー業務と生活支援コーディネーターに対するスーパービジョンを展開。

・2024年4月12日 ・2024年5月17日 ・2024年6月19日 ・2024年7月10日
・2024年8月23日 ・2024年9月18日 ・2024年10月16日 ・2024年11月15日
・2024年12月17日 ・2025年1月20日 ・2025年2月25日 ・2025年3月21日

-11. 歌志内市地域ケア会議運営アドバイザー業務

依頼者 歌志内市保健福祉課

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

場 所 歌志内市

内 容 市地域包括支援センターが実施する、地域ケア会議推進事業に関するアドバイザー業務を展開。

・2024年5月17日 ・2024年6月19日 ・2024年7月10日 ・2024年10月16日
・2024年11月15日 ・2025年1月20日

-12. 上砂川町包括的支援事業における各種アドバイザー業務

依頼者 上砂川町地域包括支援センター

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

場 所 上砂川町

内 容 町地域包括支援センターが実施する、地域ケア会議推進事業及び認知症地域支援・ケア向上推進事業に関するアドバイザー業務を展開。

・2024年4月15日 ・2024年4月25日 ・2024年5月30日 ・2024年6月26日

-13. 真狩村地域ケア会議運営アドバイザー事業

依頼者 真狩村住民課
期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
場 所 真狩村
内 容 真狩村における地域ケア会議の定着や持続的な会議運営体制の構築を図るためのアドバイザー業務を展開。
・2024年4月22日 ・2024年9月30日 ・2024年12月27日 ・2025年3月26日

-14. 真狩村生活支援体制整備事業アドバイザー事業

依頼者 社会福祉法人真狩村社会福祉協議会
期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
場 所 真狩村
内 容 地域支援事業における多様な生活支援・介護予防サービスの充実と真狩村における支え合いの体制づくりに向け、協議体の運営や生活支援コーディネーターに対するアドバイザー業務を展開。
・2024年4月22日 ・2024年9月30日 ・2024年12月27日 ・2025年3月26日

-15. 名寄市社協第5期地域福祉実践計画推進事業に係るアドバイザー業務

依頼者 社会福祉法人名寄市社会福祉協議会
期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
場 所 名寄市
内 容 2023年4月策定の「第5期名寄市地域福祉実践計画」を効果的に履行するため、業務推進に関するアドバイザー業務を受託。
・2024年7月11日 ・2025年1月14日

参 考 <http://www.nayoro-shakyo.jp/abou/dai5kitsunagari/>

-16. 知多市社協地域福祉活動計画・発展強化計画に係るアドバイザー業務

依頼者 社会福祉法人知多市社会福祉協議会
期 間 2024年9月1日～2025年3月31日
場 所 知多市
内 容 2022年4月策定の「第3次知多市社会福祉協議会発展強化計画」の中間見直し年度として、進行評価及び今後の事業戦略と実行力強化に向けた、業務推進に関するアドバイザー業務を受託。
・2024年8月14日 打ち合わせ
・2024年9月26日 ・2024年10月11日 ・2024年12月9日 ・2025年2月10日
・2025年3月14日

-17. 第3期歌志内市子ども・子育て支援事業計画策定業務

依頼者 歌志内市
期 間 2024年6月14日～2025年3月31日
場 所 歌志内市またはオンライン

内 容 2025年4月策定の「第3期歌志内市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、子育て世帯へのアンケート調査、事業量の推計・目標の設定、計画骨子案の策定、計画案の策定、会議等の運営支援等を担う。

■成果物

- ・第3期子ども・子育て支援に関するアンケート調査報告書（全142頁）
- ・第3期子ども・子育て支援事業計画（全92頁）
- ・第3期子ども・子育て支援事業計画概要版（全8頁）

■歌志内市子ども・子育て会議

- ・2025年1月20日 ・2025年2月25日

■打ち合わせ

- ・2024年7月2日 ・2024年11月26日 ・2024年12月4日

-18. 余市町地域ケア会議推進アドバイザー事業

依頼者 余市町民生部保険課真狩村住民課

期 間 2024年7月1日～2024年3月31日

場 所 余市町民生部保険課

内 容 余市町における自立支援型地域ケア会議の定着や持続的な会議運営体制の構築を図るためのアドバイザー業務を展開。

- ・2024年6月3日 ・2024年8月5日 ・2024年11月18日 ・2025年2月26日

-19. 新ひだか町地域防災啓発事業

依頼者 社会福祉法人新ひだか町社会福祉協議会

期 間 2024年8月1日～2025年3月31日

場 所 新ひだか町

内 容 災害発生時に新ひだか町社会福祉協議会が設置する災害ボランティアセンターの円滑な解説・運営に向け、協定締結団体を対象とした災害ボランティアセンター設置・運営訓練および地域住民に対する地域防災啓発事業の企画・講師業務を展開。

■令和6年度災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練

- ・2024年9月7日

■令和6年度新ひだか町地域防災研修会

- ・2024年11月12日

-20. 手稲区災害時要配慮者地域支え合い事業

依頼者 札幌市手稲区保健福祉課

期 間 2024年8月25日～2025年3月31日

場 所 札幌市

内 容 災害時要配慮者地域支え合い事業に取り組む手稲区内の関係団体に対し、コロナ渦で中断されていた取組の再開と今後の活動の充実を図ることを目的に開催された研修において、講師及び参加者に対するアンケートの作成と集計業務を受託。

■手稲区災害時支え合い研修会

・2024年12月6日

■打ち合わせ

・2024年6月25日 ・2024年10月23日 ・2025年2月10日

参 考 <https://www.city.sapporo.jp/teine/hoken/hokenfukushi/youhairyosya.html>

-21. 清田区災害時助け合い活動意見交換会支援業務

依頼者 札幌市清田区保健福祉課

期 間 2024年11月25日～2024年12月23日

場 所 札幌市

内 容 清田区内で活動する自治組織を対象に、災害時の要配慮者支援の取り組みに関する事例紹介及び意見交換におけるファシリテートと質疑に対する回答を担う。

■清田区災害時助け合い活動意見交換会

・2024年12月4日

■打ち合わせ

・2024年11月25日

参 考 <https://www.city.sapporo.jp/kiyota/hoken-fukushi/r6ikenkoukan.html>

④ その他の事業

-22. 令和6年度生活困窮者支援等のための地域づくり事業

依頼者 倉敷市社会福祉協議会

場 所 岡山県倉敷市及びオンライン開催

内 容 令和6年度より倉敷市から受託している「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」について事業内容に関する検証・評価や事業推進に関する会議及び、重層的支援体制整備事業における研修会等において、アドバイザー業務並びに講師を担当。

■令和6年度重層的支援体制整備事業研修会 各論的研修【B】

・2024年10月7日 ・2024年10月8日

■評価会議

・2025年2月19日

■令和6年度重層的支援体制整備事業における地域づくり事業研修

・2025年3月13日 ・2025年3月14日

■打ち合わせ

・2024年5月7日 ・2024年7月31日 ・2024年8月28日 ・2024年9月3日

・2024年10月3日 ・2025年1月10日 ・2025年2月18日

-23. 長岡京市とりこぼさない支援を考えるプラットフォーム整備事業アドバイザー事業

依頼者 長岡京市地域福祉連携室

場 所 京都府長岡京市

内 容 令和5年度から長岡京市が実施する「とりこぼさない（重層的）支援体制整備事業」にお

いて、各支援機関・団体への支援や連携の強化を目指したプラットフォームの構築を目指し、会議への参加とプラットフォーム交流会の企画・調整及びファシリテーターを担当。

■コアメンバー会議

・2024年5月9日 ・2024年8月2日 ・2024年12月19日

■交流会

・2024年6月20日 ・2024年10月2日 ・2025年1月28日

参 考 <https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000013707.html>

-24. 令和6年度相談支援体制強化推進事業

依頼者 倉敷市社会福祉協議会

場 所 岡山県倉敷市及びオンライン開催

内 容 生活福祉資金緊急小口等特例貸付における借受人（世帯）のフォローアップ支援等を通じて明らかになった課題の解決に向けて、令和7年度に「相談支援体制強化推進プロジェクトチーム」を発足するにあたり開催された準備会において、アドバイザーとして講義の講師及びファシリテーター等を担当。

■準備会

・2024年12月11日 ・2024年12月12日 ・2024年12月13日 ・2025年2月20日
・2025年2月21日

■打ち合わせ

・2024年12月10日 ・2025年2月9日

-25. 日高中部通年雇用促進協議会「高校生と働く大人の放課後トーク 2024」

依頼者 日高中部通年雇用促進協議会

実施日 2024年11月27日

場 所 新ひだか町

内 容 新ひだか町及び新冠町内の事業所採用・教育担当者とは北海道静内農業高等学校及び北海道静内高等学校の生徒を対象に開催する交流イベントにおいて、「グループディスカッション」及び「フリートーク・自由な交流」におけるファシリテーターを担当。

■打ち合わせ

・2024年7月23日 ・2024年12月23日

参 考 <http://hidakachubu.jp/>

-26. 北海道災害派遣福祉チーム（DWAT）研修

依頼者 北海道保健福祉部総務課及び地域福祉課

場 所 札幌市及びオンライン開催

内 容 北海道災害派遣福祉チーム（DWAT）のチーム員養成とリーダー層を育成する研修において、研修の企画調整及び講師を担当。

■登録研修

・2025年2月4日

■リーダー研修

・2025年3月7日

■打ち合わせ

・2025年1月23日

・2025年3月6日

-27. 地域保健関係職員研修 in 占冠村-災害編-占冠村地域包括ケア研修会

依頼者 占冠村

実施日 2025年2月27日

場 所 占冠村

内 容 個別避難計画作成等に係る取組を推進することを目的に開催された研修において、「災害時避難行動要支援者支援と個別避難計画作成のポイント」と題した講義を担当。

2) 地域福祉人材の育成に関する事業

地域福祉を展開するソーシャルワーカーをはじめとする福祉専門職及び地域の多様な支援者育成を目指した研修会のマネジメントや講師対応等、専門職に対する福祉教育実践を行っています。

① 自主事業

-01. 2024 年度市町村社協職員基礎講座

主 催 一般社団法人Wellbe Design

内 容 社会福祉協議会に勤務している方を対象に、社会福祉協議会の基本的な理解と今日的に求められている役割を中心とした内容の講座を開催。

参加者 9 道県から延べ135名（任意参加のふりかえり会を除く）

・ 2024年 5 月13日	第 1 回：社協のなりたちとあゆみ【歴史】	参加者17名
・ 2024年 5 月20日	第 2 回：社協活動の基本的なすすめ方【活動原則】	参加者22名
・ 2024年 5 月27日	第 3 回：社協活動に必要となるスキル【組織化】	参加者28名
・ 2024年 6 月 3 日	第 4 回：社協活動の方向性と視点【計画と指針】	参加者21名
・ 2024年 6 月10日	第 5 回：社協活動の今日的な課題【被災者支援】	参加者25名
・ 2024年 6 月17日	第 6 回：社協の組織運営と社協の機能【役員と会員】	参加者22名
・ 2024年 7 月 1 日	ふりかえり会（任意参加）	参加者 4 名

② 委嘱等に基づく事業

-02. 札幌市立大学「ボランティア活動を考える」

依頼者 札幌市立大学

場 所 札幌市

内 容 札幌市立大学デザイン学部及び看護学部の共通教育科目として開講される「ボランティア活動を考える」において、非常勤講師を担う。

・ 2024年 4 月 9 日	オリエンテーション・ボランティアとは何か
・ 2024年 4 月16日	ボランティアの価値
・ 2024年 4 月23日	ボランティアの心理
・ 2024年 4 月30日	ボランティアのあゆみ
・ 2024年 5 月 7 日	災害とボランティア
・ 2024年 5 月14日	生活とボランティア
・ 2024年 6 月 4 日	国際社会とボランティア
・ 2024年 6 月11日	大学生とボランティア
・ 2024年 6 月18日	まちづくりとボランティア
・ 2024年 6 月25日	ボランティアの組織化
・ 2024年 7 月 2 日	ボランティア活動の支え手

- ・2024年7月9日 ボランティアコーディネート
- ・2024年7月16日 非営利組織の運営
- ・2024年7月23日 今が旬なボランティア
- ・2024年7月30日 まとめ

-03. 北海道医療大学

依頼者 北海道医療大学

場 所 当別町

内 容 北海道医療大学看護福祉学部臨床福祉学科において、非常勤講師を担う。

■ソーシャルワーク方法論Ⅱ

- ・2024年11月21日 コミュニティワークの意義と目的

■ソーシャルワーク論Ⅲ

- ・2024年5月16日 ネゴシエーション
- ・2024年5月16日 ファシリテーション
- ・2024年6月6日 プレゼンテーション
- ・2024年6月6日 カンファレンス
- ・2024年6月13日 アウトリーチⅠ／Ⅱ
- ・2024年6月27日 アウトリーチⅢ／Ⅳ
- ・2024年7月4日 ネットワークの形成Ⅰ／Ⅱ

■ソーシャルワーク方法論Ⅳ

- ・2024年8月29日 総合的かつ包括的な支援の考え方
- ・2024年8月29日 社会資源の活用・調整・開発Ⅰ
- ・2024年9月5日 社会資源の活用・調整・開発Ⅱ／Ⅲ
- ・2024年10月31日 災害ソーシャルワークⅠ／Ⅱ
- ・2024年11月14日 災害ソーシャルワークⅢ／Ⅳ
- ・2024年11月21日 事例分析Ⅰ
- ・2024年11月25日 事例分析Ⅱ
- ・2024年12月5日 ソーシャルアクションによるシステム作りⅠ・Ⅱ
- ・2025年1月9日 家族支援の実際／地域支援の実際
- ・2025年1月9日 後期試験に向けて

■臨床福祉総合講義

- ・2024年10月1日 ソーシャルワークの理論と方法（専門）

-04. 日本福祉大学「地域福祉と災害ソーシャルワーク」

依頼者 日本福祉大学福祉経営学部

場 所 福岡市、長野市

内 容 日本福祉大学福祉経営学部（通信教育部）が開講する「地域福祉と災害ソーシャルワーク」において、災害ソーシャルワークの方法と展開に関する講義・演習を実施。

- ・2024年6月22～23日 福岡会場
- ・2024年7月27～28日 長野会場

-05. 札幌リハビリテーション専門学校「地域福祉概論」

依頼者 札幌リハビリテーション専門学校

場 所 札幌市

内 容 札幌リハビリテーション専門学校理学療法士科1年生を対象とした「地域福祉概論」において、非常勤講師を担う。

- ・2024年9月5日 オリエンテーション／地域福祉論の概説
- ・2024年9月9日 地域福祉の概念と理論
- ・2024年9月19日 地域福祉の歴史
- ・2024年10月1日 地域福祉の推進主体
- ・2024年10月29日 地域福祉を支える財源
- ・2024年10月31日 地域福祉の主体形成
- ・2024年11月5日 地域社会の変化と地域生活支援
- ・2024年11月7日 包括的支援体制の整備
- ・2024年11月12日 包括ケアシステム
- ・2024年11月14日 他多職種・他多機関との連携
- ・2024年11月21日 地域福祉計画の意義と展開
- ・2024年12月4日 非常時や災害時における取り組み①
- ・2024年12月4日 非常時や災害時における取り組み②
- ・2024年12月5日 非常時や災害時における取り組み③
- ・2024年12月6日 まとめ（試験にむけて）

-06. 中央福祉学院 社会福祉主事資格認定通信課程

依頼者 中央福祉学院

場 所 神奈川県葉山町

内 容 社会福祉主事資格認定通信課程の集合研修において、講義「地域福祉論」における講師を担当。

- ・2024年9月24日 春期コース第8回
- ・2025年3月10日 秋期コース第5回

-07. 北海道介護福祉士会 ファーストステップ研修

依頼者 一般社団法人北海道介護福祉士会

開催日 2024年10月5日

場 所 オンライン開催

内 容 基礎的な業務に習熟した介護福祉士を対象にした研修において、「家族や地域支援力の活用と強化」の講師を担当。

-08. 日本福祉大学「被災者支援と福祉防災に向けた実践演習」

依頼者 日本福祉大学福祉経営学部

実施日 2024年12月14～15日

場 所 愛知県名古屋市

内 容 日本福祉大学福祉経営学部（通信教育部）が開講する「被災者支援と福祉防災に向けた実践演習」において、発災後にソーシャルワーカーとしてどう動けるかに関する知識や技術について講義・演習を実施。

③ 委託契約等に基づく事業

-09. 地域福祉活動を担う人材の発掘と育成に関する事業

依頼者 歌志内市保健福祉課

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

場 所 歌志内市

内 容 歌志内市地域福祉計画に定める「地域福祉活動を担う人材の発掘と育成」を具現化するために開催する「福祉コミュニケーション講座」において、企画マネジメントと講座当日の講師対応を実施。

- ・2024年6月14日 老人クラブ編
- ・2024年8月23日 ボランティア編
- ・2025年2月25日 こども園保護者編

④ 協働事業

-10. 神奈川県災害派遣福祉チームスキルアップ研修

依頼者 神奈川県／一般社団法人FEEL Do

実施日 2025年2月5日

場 所 オンライン開催

内 容 当法人篠原理事長が理事を務める一般社団法人FEEL Do（栗原 英文 代表）が神奈川県の委託を受けて実施する災害派遣福祉チーム(DWAT)の研修事業において講師として協力。

■打ち合わせ

- ・2024年11月19日

⑤ その他の事業

-11. 令和6年度民生委員児童委員協議会事務局職員研修会

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2024年5月21～22日

場 所 札幌市

内 容 新任の事務局職員を対象にした研修において、「令和5年度市町村民児協基本調査から見える民児協の実態とこれから」をテーマと題した基調講演及び、「民児協研修企画のすすめ～事務局担当の立場から考える」をテーマと題した分科会の講師、テーマ「民児協が抱える

諸課題を語り合う」の協議においてファシリテーターを担当。

■打ち合わせ

・2024年5月15日

-12. 令和6年度全道民児協会長・副会長研究協議会

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2024年6月4～5日

場 所 札幌市

内 容 単位民生委員児童委員協議会の会長及び副会長を対象とした研究協議会において、基調報告「北海道における民児協の実態～令和5年度市町村民児協基本調査の結果から」及び分散会「民児協研修企画のすすめ」、特別シンポジウム「災害に備える民児協体制を今一度見つめ直す～能登半島地震の状況を踏まえて～」の講師を担当。

-13. 令和6年度第1回災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会

依頼者 社会福祉法人大分県社会福祉協議会

実施日 2024年6月21日

場 所 大分市

内 容 社会福祉協議会が行う災害支援の意義と役割をテーマにした研修会において、講義及び演習の講師を担当。

■打ち合わせ

・2024年4月30日

-14. 佐久大学「災害ボランティア」

依頼者 佐久大学看護学部看護学科及び人間福祉学部人間福祉学科

実施日 2024年7月6日

場 所 長野県佐久市

内 容 佐久大学看護学部看護学科および人間福祉学部人間福祉学科の科目「災害ボランティア」において、講師を担当し多様な災害ボランティア等について講義を実施。

-15. 令和6年度生活支援コーディネーター養成研修【基礎編】

依頼者 北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課

実施日 2024年7月17～18日

場 所 札幌市

内 容 市町村に配置された「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を対象に、高齢者のニーズや地域課題をアセスメントするための手法を学ぶための研修会において、基調講義及び講義、演習における講師を担当。

■打ち合わせ

・2024年5月10日

-16. 令和6年度地域共生社会推進研修会

依頼者 社会福祉法人東松島市社会福祉協議会
場 所 宮城県東松島市
内 容 行政職員や社協職員、福祉関係者などの意識醸成や機運を高め、各関係機関などが分野を超えて、連携・協働を図りながら、地域共生社会の実現を推進して行くことを目的に開催された研修会の講師を担当。

■共生社会推進研修会

- ・2024年7月25日 個別会議や地域での会議運営におけるファシリテーションとは？
- ・2024年7月26日 地域を知ろう！～地域を捉え、連携するための視点～

■打ち合わせ

- ・2024年5月13日

-17. 令和6年度留萌管内町村民生委員児童委員研修会

依頼者 北海道民生委員児童委員連盟留萌支部
実施日 2024年8月1日
場 所 小平町
内 容 民生委員児童委員として活動に取り組むために必要な知識・技術の習得を図ることを目的に開催した研修会において、「能登半島地震から学ぶ災害に備えた民生委員児童委員活動」をテーマとした講義及び演習の講師を担当。

-18. 知多市社協 役職員向け研修

依頼者 社会福祉法人知多市社会福祉協議会
実施日 2024年10月1日
場 所 知多市
内 容 社会福祉協議会の理事・評議員・監事および職員を対象とした研修会において、「社会福祉協議会の組織と活動の基本的な理解～社会福祉協議会基本要項2025を踏まえて」をテーマにした講義を担当。

-19. 令和6年度生活支援コーディネータースキルアップ研修

依頼者 長岡京市総合生活支援センター（長岡京市社会福祉協議会）
場 所 京都府長岡京市
内 容 長岡京市社会福祉協議会きずなグループ職員や関係行政職員を対象とした研修会において、講師を担当。
・2024年10月3日 生活支援コーディネーターが行うべきアセスメントと支援の視点
・2025年1月29日 データから読み解くニーズと課題

-20. 倉敷市社協・保健師合同自主勉強会

依頼者 倉敷市社会福祉協議会
実施日 2024年10月8日
場 所 倉敷市
内 容 地域づくりを行うために必要な、地域診断の目的や方法について学び、社協と保健師の連

携働を深めていくことを目的に行われた場において、「地域診断」をテーマとした講話を担当。

-21. 令和6年度島根県民生委員児童委員大学

依頼者 島根県民生委員児童委員協議会

場 所 松江市、浜田市

内 容 災害時における民生委員・児童委員の役割を学ぶ研修会において、「災害に備える民生委員・児童委員活動～避難行動支援の考え方と被災した住民への組織的支援に向けて」をテーマとした講義及び演習の講師を担当。

・2024年10月9日 松江会場

・2024年10月10日 浜田会場

-22. 令和6年度阿久比町社会福祉協議会役員・評議員研修会

依頼者 社会福祉法人阿久比町社会福祉協議会

実施日 2024年10月11日

場 所 愛知県阿久比町

内 容 第2次阿久比町地域福祉計画の後期計画の履行にあたり、理事・評議員等に対する理解促進に向け、「地域福祉計画を楽しく学び先進地の取組を知ろう」をテーマとした研修の講師を担当。

-23. 令和6年度中堅民生委員児童委員教室 in ふらの

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2024年10月17～18日

場 所 富良野市

内 容 民生委員児童委員協議会における次代のリーダー育成を目的とした中堅教室のプログラムのあり方を模索し、体系化を図ることを目的に実施された研修会において演習及びブチンボジウムの講師を担当。

-24. 令和6年度民生委員児童委員協議会会長研修

依頼者 秋田県社会福祉協議会

実施日 2024年10月21～22日

場 所 秋田市

内 容 民児協組織活動の強化に向け、委員活動及び民児協活動の活性化を図ることを目的に開催された研修において、「民児協運営に必要な基礎知識と会長の役割～令和7年改選に向けて～」をテーマとした講義および実践発表に対する助言指導、グループ協議におけるファシリテーターを担当。

-25. 令和6年度中堅民生委員児童委員教室 in ほくと

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

実施日 2024年10月24～25日

場 所 北斗市

内 容 民生委員児童委員協議会における次代のリーダー育成を目的とした中堅教室のプログラムのあり方を模索し、体系化を図ることを目的に実施された研修会において演習及びブチンボジウムの講師を担当。

-26. 令和6年度地域ケア実務者研修会

依頼者 むかわ町

実施日 2024年11月26日

場 所 むかわ町

内 容 「災害時の対応を考える～BCPについて～」をテーマに災害時の避難行動や対応等について全庁的な動きを確認し、各事業所等のBCPについて考えることを目的に開催された場において講話を担当。

-27. さいたま市民生委員児童委員協議会高齢者福祉部会

依頼者 さいたま市民生委員児童委員協議会

実施日 2024年11月28日

場 所 さいたま市

内 容 民生委員・児童委員の資質向上を図るため行われた場において、「災害時における民生委員の活動について」をテーマとした講演を担当。

-28. 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会研修会

依頼者 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会（事務局：玖珠町社会福祉協議会）

実施日 2024年12月2日

場 所 大分県玖珠町

内 容 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会会員や社協職員を対象にした研修会において、「被災者支援の視点と具体的活動～災害ボランティアによる支援の拡大を目指して～」をテーマとした講演を担当。

■打ち合わせ

・2024年10月1日

-29. 令和6年度後志管内社協職員連絡協議会 第2回研修会

依頼者 後志管内社協職員連絡協議会

実施日 2024年12月17日

場 所 札幌市

内 容 社会福祉に関する情報提供や情報交換を行うことにより、市町村社協職員の資質向上と専門性を確立することを目的に行われた研修会において、「災害ボランティアの現状と災害ボランティアセンター運営のポイント」をテーマに講師を担当。

-30. 令和6年度十勝管内町村民児協会長・副会長研修会

依頼者 北海道民生委員児童委員連盟十勝支部

実施日 2025年1月15日

場 所 帯広市

内 容 民生委員児童委員のリーダーの役割を確認し、今後の地域福祉活動の推進に資することを目的に開催された研修会において、「災害に備えた民児協体制を今一度見つめなおす」をテーマとした講演を担当。

-31. 令和6年度災害ボランティアセンター 中核運営支援者養成研修

コメントの追加 [結佐1]: 半角に修正

依頼者 滋賀県社会福祉協議会

実施日 2025年1月17日

場 所 滋賀県大津市

内 容 災害時における社会福祉協議会相互支援協定に基づき、災害ボランティアセンターの運営サポートやスーパーバイズを行う中核運営支援者を養成することを目的に開催した研修会において、実践報告のコーディネーター及び「中核運営支援のポイントについて考える災害時における法人支援の視点から」と題した講師を担当。

■打ち合わせ

・2024年12月26日

-32. 令和6年度長岡京市民生児童委員協議会新年研修会

依頼者 長岡京市民生児童委員協議会

実施日 2025年1月18日

場 所 京都市

内 容 「長員の歴史からひも解くこれからの民生委員活動の視点」をテーマに行われた場において講演を担当。

3) 地域福祉活動の推進に関する事業

広く地域福祉活動の実践や捉え方を普及し、社会に対する地域福祉啓発や地域福祉活動の推進に係る諸活動を行っています。

① 共催・後援・協賛事業

-01. 市民ボランティア講座「市民ポッチャ交流大会」【協賛】

主 催 社会福祉法人名寄市社会福祉協議会
実施日 2024年11月9日
場 所 名寄市
内 容 名寄市社会福祉協議会が開催する第3回市民ボランティア講座「第7回市民ポッチャ交流大会」に際し、第1位から第3位までのチームに対するメダルを協賛。

-02. 色彩療法士協会「彩り豊かな人生を楽しむカラーセミナー」【後援】

主 催 色彩療法士協会
実施日 2024年9月7日
場 所 札幌市
内 容 色彩療法士協会が開催する当セミナーの事業後援

-03. 厚真町ボランティアセンター「風水害 24」防災講座【後援】

主 催 厚真町ボランティアセンター（社会福祉法人厚真町社会福祉協議会）
実施日 2024年12月13日
場 所 厚真町
内 容 厚真町ボランティアセンターが開催する防災講座の事業後援

② ご依頼に基づく事業

-04. 「早坂たかとし次代を語る！」第2回まちづくりセミナー

依頼者 北海道議会議員 早坂たかとし氏
実施日 2024年4月23日
場 所 恵庭市
内 容 積雪寒冷地である北海道で大規模災害が起きた場合の備えや、災害に強いまちづくりについて学ぶことを目的に開催された場において、講演の講師を担当。

-05. 2024 年度第 1 回きずな推進委員会

依頼者 社会福祉法人登別市社会福祉協議会
実施日 2024年7月16日
場 所 登別市

内 容 福祉活動実践者の協議体であるきずな推進委員を対象に、令和6年能登半島地震被災地における地域の支え合いの状況や過去の災害における教訓から、助け合いのあり方や仕組みについて研鑽を深めることを目的に開催された場において、災害に備える地域づくりに向けて～能登半島地震の状況を踏まえて～」をテーマとした講演を担当。

-06. 令和6年度留萌地区ボラネット・スキルアップ事業

依頼者 北海道社会福祉協議会留萌地区事務所・留萌管内ボランティア連絡協議会
留萌地区ボラネット・スキルアップ事業実行委員会

実施日 2024年10月26日

場 所 羽幌町

内 容 留萌管内の多種多様なボランティア活動実践者同士の交流を深めることで活動の発展に寄与することを目的に開催された場において、「いのちと暮らしを支えるボランティア～災害時におけるボランティア活動～」をテーマとした講演を担当。

-07. 町民公開講座－介護予防講演・体験会－

依頼者 余市町医療介護連携推進協議会、北後志ケア連絡会（共催）

実施日 2024年11月16日

場 所 余市町

内 容 介護予防の側面を住民が学び、自分事として自立支援に取り組む機会として開催された講座において、「人生100年時代に向けた今日から始めるフレイル対策」をテーマとした講演を担当。

-08. 第2回災害時にも役立つ健康づくり講座

依頼者 Be助っ人おたる

実施日 2024年11月30日

場 所 小樽市

内 容 小樽市ふるさとまちづくり協働事業の助成を受けて、市民を対象に開催した講座において、「避難所で健康を維持するには」をテーマとした講義を担当。

-09. 令和6年度知多市老人クラブ連合会 会長・副会長合同研修会

依頼者 知多市老人クラブ連合会

実施日 2024年12月10日

場 所 知多市

内 容 単位老人クラブの役員同士の意見交換を通じて意識を深め、今後の組織運営の改善に向けたきっかけや動機づくりを目的に行われた研修において、「老人クラブの今までとこれから」をテーマに講演の講師を担当。

-10. 令和6年度浦幌町厚内地区防災訓練

依頼者 浦幌町

実施日 2025年2月15日

場 所 浦幌町

内 容 日本海溝・千島海周辺海溝型地震を想定した避難訓練において、「能登半島地震から1年と45日災害ボランティアによる被災者支援」をテーマに講話を担当。

■打ち合わせ

・2025年1月10日

4) 研究活動への支援等に関する事業

地域福祉実践や人材育成等に関わる様々な調査研究を行うとともに、ご依頼に基づき調査の集計及び分析業務や研究活動の支援を行っています。

① 委嘱等に基づく事業（研究活動への参画）

-01. 日本福祉教育・ボランティア学習学会

期 間 2019年11月～2022年10月 / 2022年11月～2025年10月

内 容 上記期間、同学会の特任理事として、当法人篠原理事長が広報・アーカイブ委員会に、佐藤専務理事が事務局参与として参画。

■広報・アーカイブ委員会

・2024年6月17日

参 考 <https://jaass.jp/>

-02. 地域共生社会の普及促進のための中間支援のあり方に関する調査研究事業

依頼者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

期 間 2024年9月24日～2025年3月31日

内 容 厚生労働省令和6年度社会福祉推進事業における本研究事業において、当法人篠原理事長が研究会委員の委嘱を受け参画。

・2024年12月23日 打ち合わせ

・2025年2月26日 第3回会議

・2025年3月21日 成果報告会

-03. 日本地域福祉学会

期 間 2020年7月～2023年6月 / 2023年7月～2026年6月

内 容 上記期間、同学会の地方部会委員として、当法人篠原理事長が参画

■地方部会

・2024年9月13日

・2025年3月14日

参 考 <http://jracd.jp/>

② 委託に基づく事業

-04. 民生委員児童委員の選任にかかる実態と意向に関する調査

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

内 容 令和7年12月に予定されている一斉改選に向けて、北海道内の市町村民生委員児童委員協議会の取組み実態を把握し、委員候補者の発掘や、退任意向のある委員への留任の働きかけの手立て等を研究することを目的に、北海道民生委員児童委員連盟が実施した本調査に

において、調査票の集計及び分析、調査報告書の執筆を実施。

■打ち合わせ

・2024年4月5日 ・2025年3月24日

参 考 <https://dominjiren.jp/kankeisiryou>

③ 学会活動等

実績なし

④ その他の事業

-05. 北海道デイサービスセンター協議会簡易調査 クロス集計及び分析報告書作成業務

依頼者 北海道デイサービスセンター協議会

実施日 2024年7月29日～2024年11月5日

内 容 当協議会が令和5年度に実施した簡易調査の結果について、更なる集計及び分析を行い、デイサービスセンター運営及び職員の実態を明らかにするため、当法人が依頼を受け各アンケート（管理者編・生活相談員編・介護職員編）のクロス集計などを実施し、報告書を作成。

5) 地域福祉活動等の可視化及び広報活動支援に関する事業

関係する各地域の地域実践をまとめ、広く社会に発信するためのツール開発を行っています。

① 執筆

-01. 図解でわかる「災害福祉」

依頼者 中央法規出版株式会社

期 間 2024 年 12 月 10 日～継続中

内 容 日本福祉大学山本克彦教授が編著となり、2025 年 8 月に発行予定の『図解でわかる「災害福祉」』について、全 81 節のうち 19 節の執筆を担当。

■打ち合わせ

・ 2024 年 12 月 8 日

② 啓発ツールの作成

-02. 道民児連「作文コンクール」動画制作

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟

期 間 2024 年 5 月 23 日～2024 年 6 月 11 日

内 容 旭川市民生委員児童委員連絡協議会が令和 5 年度に実施した「第 2 回旭川市内小学生民生委員・児童委員作文コンテスト」の受賞作品を紹介するための動画を制作。

■成果物

・ Web サイト掲載用ショートバージョン (390 秒)

・ 記録用フルバージョン (500 秒)

-03. 介護予防活動普及展開事業普及啓発セミナー作成業務

依頼者 北海道 (保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課)

期 間 2024 年 8 月 9 日～2024 年 12 月 18 日

内 容 地域ケア会議に関わる保健・医療・福祉・介護の専門職が、自立支援に資する地域ケア会議の意義や効果に対する理解を深め、地域ケア会議への参加を促進することを目的とし、「専門職と協働した自立支援に資する地域ケア会議の運営の工夫」をテーマとしたオンライン配信によるセミナーにおいて、動画撮影および編集を担う。

■撮影

・ 2024 年 11 月 18 日 (登別市・真狩村)

■打ち合わせ

・ 2024 年 6 月 12 日

・ 2024 年 8 月 27 日

-04. 清田区災害時助け合い活動啓発チラシ企画デザイン業務

依頼者 清田区保健福祉課
期 間 2025年2月21日～2025年3月26日
内 容 町内会役員等に配布する災害時助け合い活動啓発チラシを作成
■打ち合わせ
・2025年2月27日

③ Web サイトの運営管理等

-05. 一般社団法人 Wellbe Design 広報事業 【自主事業】

- 1) ホームページ <http://www.wellbedesign.net>
期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
内 容 2012年度より継続して実施
- 2) facebook 一般社団法人 Wellbe Design
期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
内 容 2012年度より継続して実施
- 3) Instagram wellbedesign
期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
内 容 2017年度より継続して実施
- 4) facebook Nyarube Design
期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
内 容 2017年度より継続して実施

-06. 北海道地域福祉学会ホームページ運営管理 【受託事業】

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
内 容 同学会の公式ウェブサイト運営管理を2012年度より継続して実施
参 考 <https://hacd.jp/>

-07. 北海道社会福祉学会ホームページ運営管理 【受託事業】

期 間 2023年4月1日～2024年3月31日
内 容 同学会の公式ウェブサイト運営管理を2012年度より継続して実施
参 考 <https://hssw.jp/>

-08. 社会福祉法人登別市社会福祉協議会ホームページ運営管理 【受託業務】

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
内 容 同法人の公式ウェブサイト運営管理を2016年度より継続して実施
参 考 <https://kizuna-shakyo.jp/>

-09. 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows ホームページ運営管理

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

内 容 同法人の公式ウェブサイト運営管理を2010年度より継続して実施

参 考 <https://facili.jp/>

-10. 日本地域福祉学会ホームページ運営管理 【受託事業】

期 間 2024年6月1日～2025年3月31日

内 容 同学会の公式ウェブサイト運営管理を実施

参 考 <https://jracd.jp/>

-11. どさんこコロホームページ運営管理 【受託業務】

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

内 容 同団体の公式ウェブサイト運営管理を2023年度より継続して実施

参 考 <https://dosanko-koro.net/>

④ 取材への協力

-12. 北海道新聞社

内 容 北海道新聞社の新聞記事にインタビュー内容が掲載される

■取材協力

- ・2024年8月29日 平成30年北海道胆振東部地震に関する取材
- ・2025年3月5日 東日本大震災に関する取材

-13. NHK 札幌放送局

内 容 NHK札幌放送局の報道番組にインタビュー内容が放映される

■取材協力

- ・2025年3月11日 災害時避難行動要援護者に対する個別避難計画に関する取材

6) 各種団体に対する事務局等の支援に関する事業

学会や企業の社会貢献活動を行う任意団体の事務局支援を通し、幅の広い地域福祉の推進を担っています。

-01. 北海道地域福祉学会【受託事業】

依頼者 北海道地域福祉学会

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

内 容 2012年6月1日より、学会組織運営管理、各種事業の進捗管理、調査・企画・広報活動等を実施

■役員会等

- | | |
|--------------|--------|
| ・2024年4月17日 | 第1回理事会 |
| ・2024年5月20日 | 第2回理事会 |
| ・2024年10月1日 | 理事会 |
| ・2024年11月17日 | 監査 |
| ・2024年11月19日 | 定期総会 |
| ・2024年12月18日 | 第3回理事会 |
| ・2024年1月16日 | 第4回理事会 |

■研究活動等

- | | |
|--------------|--------|
| ・2024年11月19日 | 講義配信 |
| ・2025年3月29日 | 全道研究大会 |

■委員会等

- | | |
|--------------|----------------|
| ・2024年4月30日 | 研究活動委員会 |
| ・2024年12月23日 | 地域福祉優秀実践賞審査委員会 |

■広報活動等

- | | |
|--------------|---------------|
| ・2024年10月25日 | 学会ニュースNo.67発行 |
| ・2025年2月10日 | 学会ニュースNo.68発行 |

■北海道地域福祉研究第28巻の発行

- | | |
|-------------|-------|
| ・2025年3月31日 | Web掲載 |
|-------------|-------|

参 考 <https://haed.jp/>

-02. 日本社会福祉学会北海道地域ブロック【受託事業】

依頼者 日本社会福祉学会北海道地域ブロック

期 間 2024年4月1日～2024年3月31日

内 容 2013年4月1日より、ホームページ管理業務、北海道社会福祉学会ニュースの発送業務等を実施

参 考 <https://hssw.jp/>

-03. 本田技研工業株式会社【受託事業】

内 容 本田技研工業株式会社の社会貢献活動として実施されている「子どもアイデアコンテス

ト」に関する企画協力について、2018年度より村川雅弘氏（甲南女子大学教授）等のプロジェクトチームと協働した事業運営を実施。

■プロジェクト会議等

- ・2024年8月14日 ・2024年12月29日 ・2025年1月15日
- ・2025年2月23～24日 ・2025年3月11日

■第22回子どもアイデアコンテスト最終審査会

- ・2024年12月7日

参 考 <https://www.honda.co.jp/philanthropy/ideacontest/>

-04. 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows【事務局支援】

依頼者 特定非営利活動法人 Facilitator Fellows

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

場 所 札幌市、千歳市

内 容 2012年6月1日より、同法人の事務局業務及び千歳市市民評価会議のアドバイザー対応などを実施。

■会務の運営

- ・2024年4月14日 ・2025年2月11日

■千歳市市民評価会議

- ・2024年4月26日 ・2024年6月24日 ・2024年6月26日 ・2024年7月1日
- ・2024年7月3日 ・2024年7月8日 ・2024年7月17日 ・2024年7月22日
- ・2025年2月17日

参 考 <https://facili.jp/>

-05. 北海道の福祉教育・ボランティア学習を学び合う会【事務局支援】

依頼者 北海道の福祉教育とボランティア学習を学び合う会

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

場 所 札幌市

内 容 道内の福祉教育・ボランティア学習の学び合いの機会創出と、福祉教育を推進していくためのネットワーク形成、共同実施のできるプラットフォームの構築を目的に組織されている当会において、事務局業務の支援及び研修開催時におけるオンライン配信業務を実施。

■実行委員会

- ・2024年4月25日 ・2024年7月9日 ・2024年7月24日 ・2024年12月3日

■役員・事務局会議

- ・2024年5月2日 ・2024年8月2日

■研修会等（当法人共催）

- ・2024年7月13日 夏セミナー
- ・2024年9月18日 若手企画オンラインカフェ
- ・2024年11月1日 秋セミナー

-06. 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟【事務局支援】

依頼者 公益財団法人北海道民生委員児童委員連盟
内 容 同財団が主催する各種事業等の円滑な開催に向けた支援を実施

■オンライン配信オペレーション支援

- ・2024年5月21日 令和6年度民児協事務局職員研修会
- ・2024年6月4～5日 令和6年度全道民児協会長・副会長研究協議会
- ・2024年8月21～22日 令和6年度全道児童委員活動研究集会
- ・2024年9月3日 第25回民生委員児童委員活動推進講座（札幌会場）

-07. 一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク

依頼者 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター（大会時事務局）
期 間 2024年11月9～10日
場 所 愛知県東海市
内 容 一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワークが主催する「第11回生活困窮者自立支援全国研究交流大会」において、オンライン配信時のオペレーション支援などを担当。

■打ち合わせ

- ・2024年5月15日

-08. 北海道足湯隊【事務局支援】

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日
内 容 平成30年北海道胆振東部地震を契機に道内外の団体で構成したネットワーク組織の事務局を担当（当年度中の活動実績なし）。

7) その他の事業

災害被災者・被災地への支援活動や各種研修会への参加、各種団体とのネットワークの構築活動などを行っています。

① 災害発生時における被災者・被災地支援活動

-01. 令和6年能登半島地震被災者支援活動

期 間 2024年4月1日～2025年3月31日

内 容 社会福祉法人中央共同募金会が設置する「災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援P)」からの要請に基づく被災者支援活動を展開。

- ・2024年3月28日～4月4日 輪島市（災害ボランティアセンター）
- ・2024年4月9日～4月11日 輪島市（災害ボランティアセンター）
- ・2024年4月12日 輪島市（被災者見守り・相談支援等事業）
- ・2024年4月16日 輪島市（災害ボランティアセンター）

参 考 <https://shienp.net/>

② 平時における被災者・被災地支援活動の構築に関する活動

-02. ボラサポ（事前登録審査）2024年度被災地支援NPO助成団体の登録

通知日 2024年8月28日

内 容 社会福祉法人中央共同募金会が行う「2024年度被災地支援NPO助成事業」の事前登録団体として採択され、災害発生時における円滑な被災者支援構築を行えるよう準備を行う。

-03. 災害ケースマネジメントに関する地方公共団体及び関係民間団体向け説明会

依頼者 株式会社ダイナックス都市環境研究所（受託事業者）

実施日 2024年11月7日

場 所 札幌市

内 容 内閣府・北海道主催の当説明会において、「災害ケースマネジメントにつながる平時からの取組み福祉支援などの構築における実践から」をテーマとした事例報告を担う。

■打ち合わせ

- ・2024年10月15日

-04. 避難生活支援リーダー/サポーター研修

内 容 内閣府が主催し令和4年度から全国の市町村で実施されている同研修において、研修カリキュラム検討委員からの推薦を受け、研修の講師候補者として各研修会へ参加。

■講師候補者説明会

- ・2024年12月26日

■モデル研修

- ・2025年2月8～9日 群馬県館林市
- アシスタント講師候補対象研修
- ・2025年3月6～7日 東京都

-05. 北海道議会議員道見やすのり勉強会

依頼者 北海道議会議員 道見やすのり氏

実施日 2025年3月18日

内 容 自民党・道民会議議員会の勉強会において、「防災に関する勉強会」と題した講師を担当。

-06. 「北の国災害サポートチーム」への参加と運営協力

2019年10月に設立した北海道の災害中間支援組織「北の国災害サポートチーム」の幹事団体としてとして参画し、篠原理事長が代表を務め、一年を通し多様な主体間の連携による被災者支援の円滑な展開に向けたネットワーキングを展開。

（１）北海道内の災害時における活動

- ①NPO 等民間団体・行政・社会福祉協議会の情報共有の場づくり
- ②道内外の NPO 等民間団体同士の連携調整
- ③NPO 等民間団体の活動サポート

（２）北海道外の災害時における活動

①培った経験を道外につなげる活動（道外支援）

■令和6年能登半島地震および奥能登豪雨

- ・2024年10月1日 状況報告会（主催：JVOAD）への参加
- ・2024年5月6～20日 令和6年能登半島地震支援事業における被災者支援コーディネーション業務（JVOAD）
- ・2024年5月14日 応援スタッフヒアリング

②道内外の被災地をつなぐ活動（恩送り）

■北の国会議 for 能登の開催

- ・2024年4月19日
- ・2024年6月25日
- ・2024年9月19日

（３）平時における活動

①三者連携の構築・促進のための体制構築

■全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）との連携・協力

- ・2024年4月8日 災害中間支援組織全体会打合せ/準備会
- ・2024年4月16日 災害プラットフォームおきなわアドバイザー会議
- ・2024年4月23日 災害中間支援組織全体会打合せ/準備会
- ・2024年4月24日 JVOAD運営委員会
- ・2024年5月7日 災害中間支援組織全体会打合せ/準備会
- ・2024年5月22日 JVOAD運営委員会
- ・2024年5月22日 災害プラットフォームおきなわアドバイザー会議
- ・2024年5月24日 あいおいニッセイ同和損保「災害中間支援組織向け保険」に関する打ち合わせ

・ 2024年 5月28日	地域版・災害支援ネットワーク立ち上げ支援事業キックオフミーティング
・ 2024年 6月10日	第1回災害中間支援組織全体会
・ 2024年 6月18日	災害プラットフォームおきなわアドバイザー会議
・ 2024年 6月26日	JVOAD運営委員会
・ 2024年 7月16日	災害プラットフォームおきなわアドバイザー会議
・ 2024年 7月24日	JVOAD運営委員会
・ 2024年 7月29日	災害中間支援組織全体会打合せ/準備会
・ 2024年 8月 2日	コーディネーター育成研修事業打ち合わせ
・ 2024年 9月25日	JVOAD運営委員会
・ 2025年 1月30日	被災者支援コーディネーション基礎研修in沖縄打ち合わせ
・ 2024年11月27日	JVOAD運営委員会
・ 2024年12月 5日	災害中間支援組織全体会打合せ/準備会
・ 2024年12月17日	JVOAD総会
・ 2024年12月24日	学習会「スフィア基準の理解」
・ 2024年12月24日	能登半島地震支援ふりかえり会打ち合わせ
・ 2025年 1月16日	災害中間支援組織全体会打合せ/準備会
・ 2025年 1月18日	地域版・災害支援ネットワーク立ち上げ支援事業7県意見交換会
・ 2025年 1月22日	JVOAD運営委員会
・ 2025年 1月27日	第2回災害中間支援組織全体会
・ 2025年 1月29日	交通費補助制度創設に係る意見交換会
・ 2025年 1月30日	被災者支援コーディネーション基礎研修in沖縄
・ 2025年 2月26日	災害支援における官民連携に関する意見交換会
・ 2025年 2月26日	JVOAD運営委員会
■NPO等との関係構築	
・ 2024年 4月11日	北海道NPOファンドとの意見交換会
・ 2024年 4月19日	北の国災害サポートチーム協力会員交流会
・ 2024年 5月30日	札幌青年会議所との打ち合わせ
・ 2024年 5月30日	札幌弁護士会との意見交換会
・ 2024年 6月26日	北の国災害サポートチーム協力会員交流会
・ 2024年 7月12日	協同組合ネット北海道勉強会
・ 2024年 7月12日	北海道労働金庫、北海道農業協同組合中央会との意見交換
・ 2024年 7月24日	札幌青年会議所との打ち合わせ
・ 2024年 7月24日	北海道NPOファンドとの意見交換会
・ 2024年 9月10日	北海道NPOファンドとの意見交換会
・ 2024年 9月21～22日	サッドラFES「アウトドアゾーン supported by 札幌青年会議所」
・ 2024年 9月25日	北の国災害サポートチーム協力会員交流会
・ 2024年 9月27日	北海道生団連会合第4回会合
・ 2024年11月13日	北海道生団連第12回新・災害対策委員会
・ 2024年11月26日	札幌青年会議所との打ち合わせ

- ・ 2025年 2月28日 北海道生団連第13回新・災害対策委員会

■行政および社会福祉協議会との関係構築

- ・ 2024年 4月24日 コア会議（北海道・北海道社協との三者連携会議）
- ・ 2024年 6月 5日 コア会議（北海道・北海道社協との三者連携会議）
- ・ 2024年 7月10日 北海道災害ボランティアセンター災害ボランティアネットワーク会議
- ・ 2024年 7月22日 コア会議（北海道・北海道社協との三者連携会議）
- ・ 2024年 8月13日 北海道災害ボランティアセンター災害ボランティア組織連携会議研修動画制作
- ・ 2024年 9月 9日 コア会議（北海道・北海道社協との三者連携会議）
- ・ 2024年 9月11日 北海道災害ボランティアセンター石狩地区災害ボランティア組織連携会議
- ・ 2024年12月18日 コア会議（北海道・北海道社協との三者連携会議）
- ・ 2025年 2月 3日 コア会議（北海道・北海道社協との三者連携会議）
- ・ 2025年 3月19日 コア会議（北海道・北海道社協との三者連携会議）
- ・ 2025年 3月19日 官民連携による被災者支援体制整備モデル事業最終報告会

②災害支援従事者の育成及び研修活動

■ひろがる被災者支援—災害時のコーディネーションを学ぼう（真如苑補助事業）

- ・ 2024年 4月 6日 第1回研修講師打ち合わせ
- ・ 2024年 4月12日 第1回研修講師打ち合わせ
- ・ 2024年 4月13日 第1回「きたサボが持つネットワークを共有しよう」
- ・ 2024年 5月 7日 第2回研修講師打ち合わせ
- ・ 2024年 5月27日 第2回「災害時のコーディネーションの価値と効果」
- ・ 2024年 5月31日 第3回研修講師打ち合わせ
- ・ 2024年 6月11日 第3回研修講師打ち合わせ
- ・ 2024年 6月12日 第3回「災害時に機能する日常的な連携」
- ・ 2024年 7月 1日 オプションプログラム（ふりかえり会）

■被災者支援の多様な視点を学ぶきたサボ研修会

- ・ 2025年 2月27日 第20回研修講師打ち合わせ
- ・ 2025年 3月 4日 第19回「住民たちが主役のコミュニティづくり」
- ・ 2025年 3月11日 第20回「被災地を支える共同募金会の財源の仕組み ～支援活動に役立つボラサボの活用方法～」
- ・ 2025年 3月18日 第21回「コミュニティFMによる情報支援 ～地域情報を平時も、災害時も～」

③調査研究・政策提言

④被災者支援のあり方に関する普及・啓発

■これからの災害支援を考える北海道フォーラム

- ・ 2024年10月 3日 第5回フォーラム講師打ち合わせ
- ・ 2024年10月22日 第5回フォーラム講師打ち合わせ
- ・ 2024年10月27日 第5回フォーラム講師打ち合わせ

- ・2024年10月28日 第5回これからの災害支援を考える北海道フォーラム「北海道における官民連携・多様な主体による被災者支援」

(4) 会務の運営

① 総会・役員会・幹事会

■ 総会

- ・2024年7月30日
- ・2024年11月21日
- ・2025年2月3日

■ 役員会

- ・2024年7月8日

■ 幹事会

- ・2024年4月19日
- ・2024年5月30日
- ・2024年6月26日
- ・2024年7月30日
- ・2024年8月28日
- ・2024年9月25日
- ・2024年10月22日
- ・2024年12月23日
- ・2025年1月20日
- ・2025年2月27日
- ・2025年3月27日

② その他会務の運営に関わる活動等

- ・2024年4月2日
- ・2024年4月12日
- ・2024年7月8日
- ・2024年7月24日
- ・2024年8月14日
- ・2024年9月11日
- ・2024年11月25日
- ・2024年12月16日
- ・2025年1月23日
- ・2025年2月17日
- ・2025年2月28日

(5) その他、目的の達成に必要な活動

① 事業共催

■ 令和6年能登半島地震被災地支援活動報告会（主催：北海道NPOファンド）

- ・2024年4月24日

② 事業後援

③ 事業協力

■ 2024年度北海道道内避難者心のケア事業「被災・避難者への長期的支援のあり方を検討するための情報共有ミーティング」（実施主体：北海道総合政策部地域創生局地域政策課／受託団体：NPO法人北海道NPOサポートセンター）

- ・2024年6月18日 企画打ち合わせ
- ・2024年7月2日 講師打ち合わせ
- ・2024年8月27日 講師打ち合わせ
- ・2024年9月3日 第1回情報共有ミーティング
- ・2024年11月25日 講師打ち合わせ
- ・2025年1月16日 講師打ち合わせ
- ・2025年1月23日 第2回情報共有ミーティング

④ その他

■ ボラサポ（事前登録審査）2024年度災害中間支援組織助成事業への登録

③ 他団体との協働・ネットワークの構築に関する活動

-07. 「B-camp-Lab（防災キャンプ研究所）」との協働

同研究所の高村秀史代表は当法人において防災キャンプデザイナーとして所属し、協働の取り組みを展開

■Field Style Jamboree/愛知 Sky Expo において、火おこしワークショップ及び防災キャンプ展示への参加

・2023年5月20～21日 ・2023年11月11～12日

■防災キャンプ講習

・2023年6月2～3日 北海道勇払郡厚真町

・2023年8月26日 徳島県海部郡海陽町（主催：徳島県危機管理環境部消防保安課）

・2023年12月2日 沖縄県北部社協

■宿泊型防災キャンプ

・2023年7月15～17日 長野県大町市（科研費助成）

・2023年9月16～18日 長野県大町市

■防災キャンプ研究

・2023年10月5～7日 岩手県

■避難所等設営講習

・2023年10月26日 沖縄県宜野座村

■東海市市民総合防災訓練

・2023年10月28日 （主催：東海市）

■日本福祉教育・ボランティア学習学会（研究発表）

・2023年11月4日

■能登半島地震被災地調査

・2024年1月25～29日

■能登半島地震被災地ボランティアコーディネート

・2024年2月13～16日 ・2024年3月11～13日

■防災講習

・2024年3月17日 沖縄県宜野座村福山区

参 考 <https://bosaicamp.com/>

-08. 「一般社団法人 FEEL Do」との協働

同団体（栗原 英文 代表）では当法人篠原理事長が理事を務めており、各種事業において協働の取り組みを展開

■ミーティング等

・2024年4月16日	・2024年4月23日	・2024年5月7日	・2024年7月22日
・2024年8月14日	・2024年10月30日	・2024年11月14日	・2025年1月8日
・2025年3月19日	・2025年3月21日		

■事業等

・2024年6月8～9日	合宿（仙台）
・2024年11月5日	フォーラム
・2024年11月19日	神奈川県庁/県社協打ち合わせ
・2025年2月5日	神奈川県災害派遣福祉チームスキルアップ研修

参 考 <https://www.feeldo.org/>

-09. 「株式会社タクマ」・「株式会社タクマテクノス北海道」との協働

同企業が札幌市から受注した駒岡清掃工場更新事業において、新設する清掃工場に敷設される避難所の運営体制の構築等に向けた各種事業を実施。

■駒岡清掃工場避難所開設マニュアル作成事業

・ 2024年10月22日 打ち合わせ

④ その他の活動

-10. 各種相談支援活動

・ 2024年 6 月17日	A 町 介護サービス量の算定方法に関する相談
・ 2024年11月11日	B 市 重層的支援体制整備事業の構築に向けた相談
・ 2025年 1 月 8 日	C 市議会議員 社会福祉に関する動向に関する相談

8) 法人運営事業

当法人の運営に必要な活動などを行っています。

-01. 年次総会・理事会

- | | |
|-------------|--------|
| ・2024年5月31日 | 年次総会 |
| ・2024年5月31日 | 第1回理事会 |

-02. スタッフミーティング

- | | | | |
|--------------|------------|-------------|-------------|
| ・2024年5月31日 | ・2024年7月3日 | ・2024年7月30日 | ・2024年8月27日 |
| ・2024年10月15日 | ・2025年3月4日 | | |

-03. 会計・税理事務

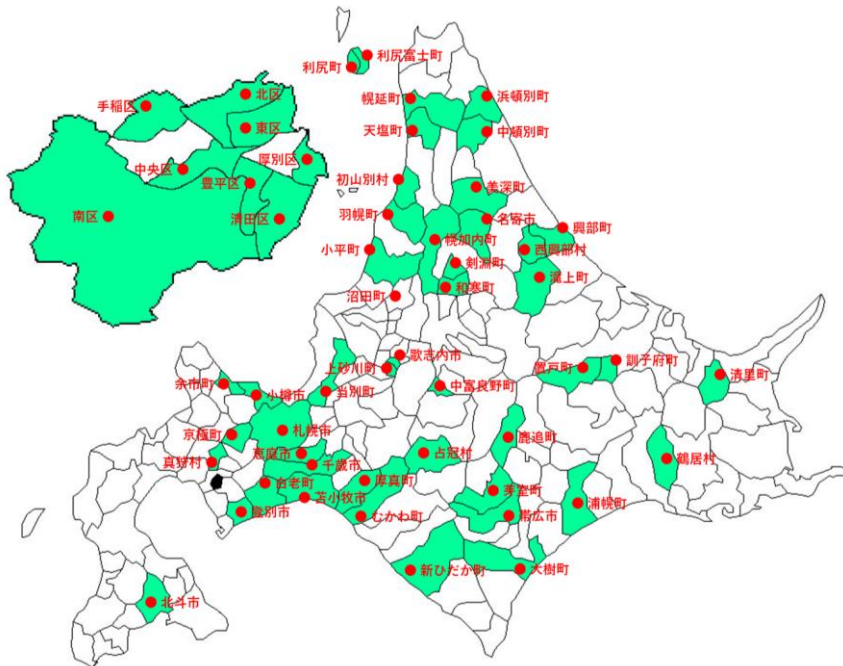
- | | |
|-------------|------------------------|
| ・2024年5月8日 | あすか税理士事務所からのアドバイザリー |
| ・2024年5月13日 | 給与支払者向け定額減税説明会（札幌東税務署） |
| ・2024年5月22日 | あすか税理士事務所からのアドバイザリー |
| ・2025年1月20日 | あすか税理士事務所からのアドバイザリー |
| ・2025年1月31日 | 労務管理説明会（札幌東労働基準監督署） |
| ・2025年2月12日 | 消費税に関する相談（滝川税務署） |

-04. 各種研修会等への参加

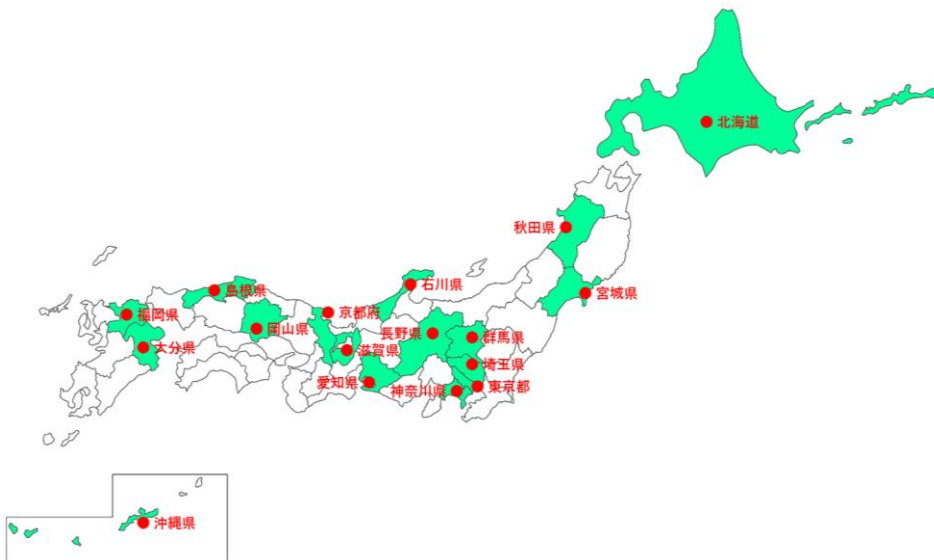
- | | |
|-----------------|---|
| ・2024年6月15～16日 | 日本地域福祉学会第38回東京大会（日本地域福祉学会） |
| ・2024年6月29日 | 半田市社会福祉協議会防災キャンプ講習（B-camp-Lab） |
| ・2024年10月4日 | 第7回北海道と全国を結ぶ会～防災編～能登半島地震から学ぶ今後の防災対策（北海道と全国を結ぶ会） |
| ・2024年11月7日 | 災害ケースマネジメントに関する地方公共団体及び関係民間団体向け説明会（内閣府/北海道） |
| ・2024年11月22～24日 | 日本福祉教育・ボランティア学習学会第30回とうきょう大会（日本福祉教育・ボランティア学習学会） |
| ・2025年1月21～22日 | 災害ボランティアセンター マネジメント研修（全国社会福祉協議会） |
| ・2025年1月28日 | 地域福祉活動計画策定に向けた職員研修（長岡京市社会福祉協議会） |
| ・2025年3月7日 | 福祉教育オンラインサロン～福祉教育と関連する国の施策を学ぼう（全国社会福祉協議会） |

3. あしあと

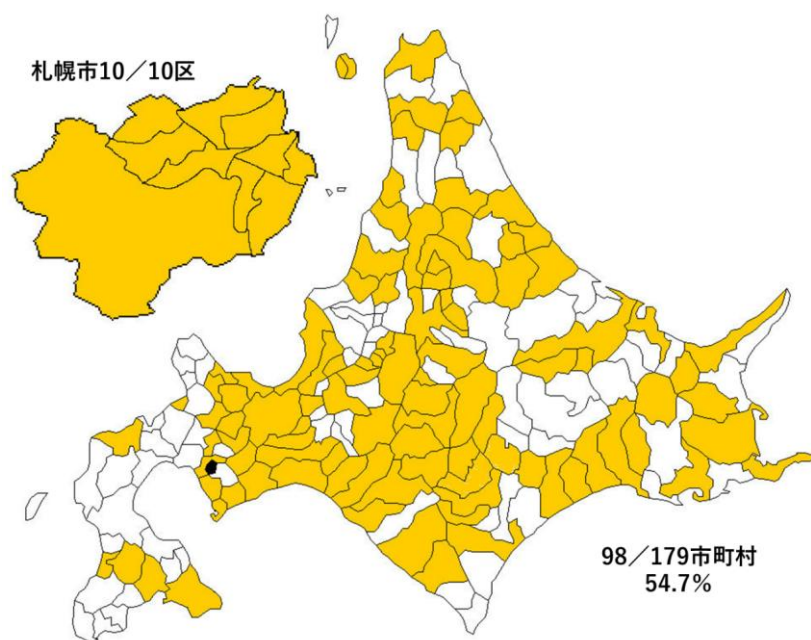
凡例：■2024 年度に業務を行った地域（都道府県域）



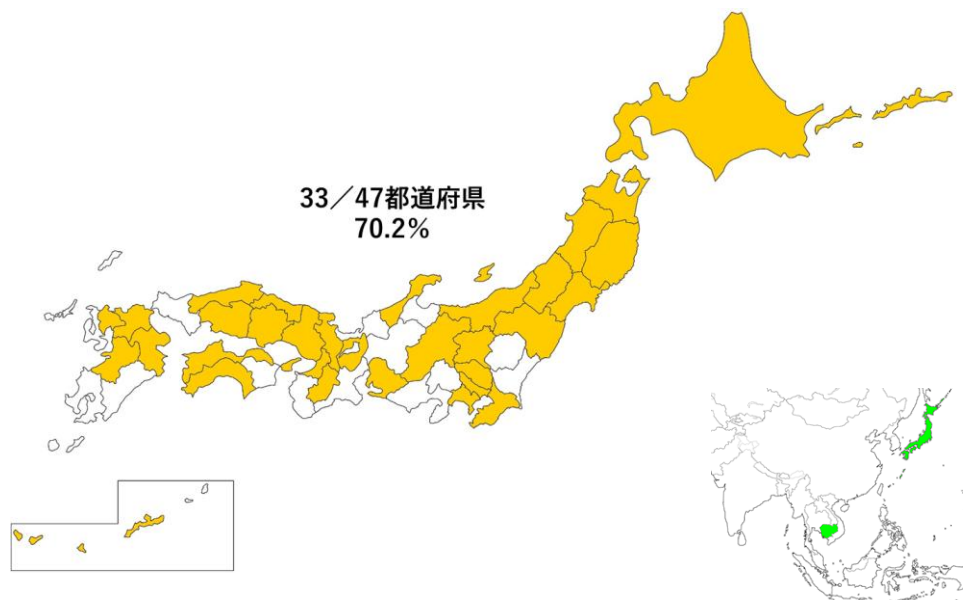
凡例：■2024 年度に業務を行った地域（北海道内市区町村域）



凡例：■法人設立以降（2012～2024 年度）に業務を行った地域（都道府県域） ■国



凡例：■法人設立以降（2012～2024 年度）に業務を行った地域（北海道内市区町村域）



4. 収支決算

2023 年 3 月 31 日 現在 (単位: 円)

非営利活動に係る事業会計貸借対照表

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,064,481
現 金	1,209,228	預 り 金	405,747
普通 預金	9,850,908	未払法人税等	20,000
普通預金(ゆうちょ)	1,824,696	未払消費税	637,100
貯蓄用口座	20,000,000	流動負債 計	2,127,328
現金・預金 計	32,884,832	【固定負債】	
(売上債権)		退職給付引当金	985,000
未 収 金	4,622,544	固定負債 計	985,000
売上債権 計	4,622,544	負債の部合計	3,112,328
(その他流動資産)		正 味 財 産 の 部	
前払 費用	98,124	【代替基金】	
立 替 金	1,100	代替基金	2,000,000
その他流動資産 計	99,224	【代替基金】 合計	2,000,000
流動資産合計	37,606,600	【正味財産】	
【固定資産】		正味 財産	32,868,987
(有形固定資産)		(うち当期正味財産増加額)	711,458
車両運搬具	1	正味財産 計	32,868,987
什器 備品	358,784	正味財産の部合計	34,868,987
有形固定資産 計	358,785		
(投資その他の資産)			
リサイクル預託金	15,930		
投資その他の資産 計	15,930		
固定資産合計	374,715		
資産の部合計	37,981,315	負債・正味財産の部合計	37,981,315

非営利活動に係る財産目録

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	1,209,228
普通 預金	9,850,908
普通預金(ゆうちょ)	1,824,696

貯蓄用口座	20,000,000	
現金・預金 計	32,884,832	
(売上債権)		
未 収 金	4,622,544	
売上債権 計	4,622,544	
(その他流動資産)		
前払 費用	98,124	
概算労働保険料	(98,124)	
立 替 金	1,100	
その他流動資産 計	99,224	
流動資産合計		37,606,600
【固定資産】		
(有形固定資産)		
車両運搬具	1	
什器 備品	358,784	
有形固定資産 計	358,785	
(投資その他の資産)		
リサイクル預託金	15,930	
投資その他の資産 計	15,930	
固定資産合計		374,715
資産の部 合計		37,981,315
《負債の部》		
【流動負債】		
未 払 金	1,064,481	
預 り 金	405,747	
社保預り金	(215,990)	
所得税預り金	(34,819)	
雇用保険	(48,438)	
住民税	(106,500)	
未払法人税等	20,000	
未払消費税	637,100	
流動負債 計		2,127,328
【固定負債】		
退職給付引当金	985,000	
固定負債 計		985,000
負債の部 合計		3,112,328
正味財産		34,868,987

損益計算書

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

地域福祉推進事業収入	14,170,660	
地域包括ケア推進事業収入	4,256,922	
福祉活動支援事業収入	4,055,281	
その他事業収入	162,116	
参加会費収入	272,000	
助成金収入	80,000	
入会金収入	50,000	
受取利息収入	3,189	
事務委託料収入	2,833,600	
経常収入 計		25,883,768

【事業費】

その他事業支出	312,654	
HONDA 子どもアイディアコンテスト	2,200,000	
北海道胆振東部地震支援事業	62,154	
合 計	2,574,808	
事業費 計		2,574,808

【管理費】

給料 手当	7,813,000
役員 報酬	3,540,000
通勤手当	259,200
法定福利費	1,728,595
福利厚生費	700,146
退職給付費用	235,000
通 信 費	454,502
旅費交通費	872,358
広告宣伝費	59,790
接待交際費	203,727
会 議 費	242,893
研 修 費	34,200
事務用消耗品費	423,171
備品消耗品費	179,718
新聞図書費	107,831
印刷 経費	45,313
修 繕 費	32,672
地代 家賃	1,716,000
車両燃料費	167,859

保 険 料	92,520	
租税 公課	1,232,800	
学 会 費	108,000	
リース 料	353,760	
支払手数料	282,480	
管理 諸費	121,176	
減価償却費	1,570,441	
雑 費	20,350	
管理費 計		22,597,502
経常収支差額		711,458
当期正味財産増加額		711,458
前期繰越正味財産額		32,157,529
当期正味財産合計		32,868,987

5. わたしたちの取り組み

1. Mission【社会的使命】

Wellbe Design は、社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とし、次の事業を行います。

- (1) 社会福祉に関する相談・支援事業
- (2) 社会福祉に関する事業の企画・運営事業
- (3) 社会福祉に関する情報の収集・提供事業
- (4) 社会福祉に関する調査・研究事業
- (5) 社会福祉に関する出版・編集事業
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

2. Vision【活動理念】

WellbeDesign は、「地域研究」・「地域開発」・「人材育成」の包括的プロジェクトにより、地域福祉活動の担い手を支えられるチカラになります。この理念に基づき、各種機関・団体との連携により、法人の使命を果たす取り組みを行っています。

3. Value【社会的価値】

WellbeDesign は、“ひとづくり”と“地域づくり”のデザイナーとして存在し、Well-being（福祉、幸福、健康）と、Design（デザイン）をあわせた造語「**Wellbe Design**（ウェルビー・デザイン）」を法人名称としました。

4. Logotype【ロゴに込めた想い】

ハニカム構造の各頂点から対角線を記したデザインは、地域の様々な資源の連携による強固な地域を意味し、右に飛び出た正三角形は社会への参画や組織から生まれ出る成果を表しています。



6. 定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人 Wellbe Design と称し、略称を WD とする。

(主たる事務所)

第2条 当法人は、主たる事務所を札幌市厚別区に置く。

2 当法人は、社員総会の決議により、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的とし、次の事業を行う。

- (1) 社会福祉に関する相談・支援事業
- (2) 社会福祉に関する事業の企画・運営事業
- (3) 社会福祉に関する情報の収集・提供事業
- (4) 社会福祉に関する調査・研究事業
- (5) 社会福祉に関する出版・編集事業
- (6) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

(公告)

第4条 当法人の公告は、電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、当法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

第2章 社 員

(入社)

第5条 当法人の目的に賛同し、入社した者を社員とする。

2 社員となるには当法人所定の様式による申込みをし、理事長の承認を得るものとする。

(経費等の負担)

第6条 社員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2 社員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(社員の資格喪失)

第7条 社員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退社したとき。
- (2) 成年被後見人又は被保佐人になったとき。
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき。
- (4) 6か月以上会費を滞納したとき。
- (5) 除名されたとき。
- (6) 総社員の同意があったとき。

(退社)

第8条 社員は、いつでも退社することができる。ただし、1か月以上前に当法人に対して予告をする

ものとする。

(除名)

第9条 当法人の社員が、当法人の名誉を毀損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、一般社団及び一般財団法人に関する法律（以下「一般法人法」という。）第49条第2項に定める社員総会の特別決議によりその社員を除名することができる。

(社員名簿)

第10条 当法人は、社員の氏名又は名称及び住所を記載した社員名簿を作成する。

第3章 社員総会

(社員総会)

第11条 当法人の社員総会は、定時社員総会及び臨時社員総会とし、定時社員総会は、毎事業年度の終了後3か月以内に開催し、臨時社員総会は、必要に応じて開催する。

(開催地)

第12条 社員総会は、主たる事務所の所在地において開催する。

(招集)

第13条 社員総会の招集は、理事が過半数をもって決定し、理事長が招集する。

2 社員総会の招集通知は、会日より5日前までに各社員に対して発する。

(決議の方法)

第14条 社員総会の決議は、法令に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席社員の議決権の過半数をもってこれを行う。

(議決権)

第15条 各社員は、各1個の議決権を有する。

(議長)

第16条 社員総会の議長は、理事長がこれに当たる。理事長に事故があるときは、当該社員総会で議長を選出する。

(議事録)

第17条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に備え置く。

第4章 理 事

(理事の設置)

第18条 当法人に、理事3名以上を置く。

2 理事のうち、代表理事1名を定め、代表理事をもって理事長とする。

3 理事のうちから、副理事長、専務理事及び常務理事各若干名を定めることができる。

(選任等)

第19条 理事は、社員総会の決議によって社員の中から選任する。ただし、必要があるときは、社員以外の者から選任することを妨げない。

2 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事は、理事の互選によって定める。

3 理事のうち、理事のいずれかの1名とその配偶者又は3親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。

(任期)

第20条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

3 理事は、辞任又は任期満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(理事の職務権限)

第21条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2 理事は、当法人の業務を執行する。

(理事の報酬等)

第22条 役員の報酬、賞与その他の職務執行の対価として当法人から受ける財産上の利益は、社員総会の決議をもって定める。

(取引の制限)

第23条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合には、社員総会において、その取引について重要な事実を開示し、その承認を受けなければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除)

第24条 当法人は、役員の一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、社員総会の特別決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として、免除することができる。

第5章 基 金

(基金の拠出)

第25条 当法人は、社員又は第三者に対し、一般法人法第131条に規定する基金の拠出を求めることができるものとする。

(基金の募集)

第26条 基金の募集、割当て及び払込み等の手続については、理事が決定するものとする。

(基金の拠出者の権利)

第27条 拠出された基金は、基金拠出者と合意した期日までは返還しない。

(基金の返還の手続)

第28条 基金の拠出者に対する返還は、返還する基金の総額について定時社員総会における決議を経た後、理事が決定したところに従って行う。

第6章 計 算

(事業年度)

第29条 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月末日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第30条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、社員総会において承認を得るものとする。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(剰余金の分配の禁止)

第31条 当法人は、剰余金を分配することができない。

(残余財産の帰属)

第32条 当法人が清算をする場合において有する残余財産は、社員総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第7章 附 則

(最初の事業年度)

第33条 当法人の最初の事業年度は、当法人成立の日から平成25年3月末日までとする。

(設立時社員の氏名ほか)

第34条 設立時社員の氏名又は名称及び住所並びに設立に際して割り当てを受ける基金の額は、次のとおりである。

篠原 辰二

札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

金100万円

佐藤 大介

札幌市白石区栄通13丁目1番34-105号

金100万円

(設立時の理事及び代表理事)

第35条 当法人の設立時役員は、次のとおりである。

設立時理事 篠原 辰二、佐藤 大介

設立時代表理事 篠原 辰二

(法令の準拠)

第36条 本定款に定めのない事項は、すべて一般社団法人及び一般財団法人に関する法律その他の法令に従う。

7. 役職員紹介 Staff

篠原辰二（しのはら・しんじ：理事長：社会福祉士）

北海道内2つの市町で社会福祉協議会職員として14年勤務。地域特性を踏まえた各種の地域福祉事業や地域防災事業の経験を踏まえ、地域住民と共に創る福祉のまちづくりを展開している。社会福祉士。防災士。1976年生れ。道都大学社会福祉学部卒、北海道伊達市出身。

岡部和夫（おかべ・かずお：副理事長）

34年間の北海道社会福祉協議会を経て、道内2大学において社会福祉教育（地域福祉）に10年携わる。社会福祉協議会活動を始め、民生委員児童委員活動、住民組織活動等の実践と研究に努める。2009年に発行された「社協再生—社会福祉協議会の現状分析と新たな活路」（中央法規）では第2章を執筆。1941年生れ。東北福祉大学社会福祉学部卒。北海道洞爺湖町出身。

佐藤大介（さとう・だいすけ：専務理事：社会福祉士/精神保健福祉士）

市社会福祉協議会と福祉系大学での勤務経験を持ち、地域福祉・災害ソーシャルワーク・住民主体による小地域福祉活動の実証的研究、福祉教育に関する研究を行っている。日本福祉大学全学教育センター助教。社会福祉士、精神保健福祉士。北星学園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。1980年生まれ。北海道函館市出身。

篠原三恵子（しのはら・みえこ：総務課長）

法人設立時より研究者及び研究機関からの依頼により、インタビュー調査の文字起こしやデータ入力および集計などの調査研究補助業務を担う。近年は動画制作の依頼が多く、編集ソフトを駆使しながらオーダーに応じている。法人の経理及び庶務を取り扱う金庫番。

佐藤結希（さとう・ゆき：コミュニティデザイナー：社会福祉士/介護支援専門員）

社会福祉協議会での勤務経験を経て2017年9月に当法人正職員第一号として入社。社会福祉士と介護支援専門員の両視点から、地域福祉と地域包括ケアを融合させた取り組みを展開するほか、行政計画や社会福祉協議会の計画策定などに従事している。

本田綾子（ほんだ・あやこ：コミュニティデザイナー/復興支援コーディネーター）

医療現場で相談援助職として勤務した経験を経て2019年8月に当法人に入社。フットワークの軽さと学生時代から培った災害支援の経験を踏まえ、北海道胆振東部地震の支援を担当してきた。2025年度からは内閣府が実施する避難生活支援リーダー/サポーター研修の道内唯一のアシスタント講師として活躍する。

くう太（くうた：広報部窓際主事）

2022年2月、先代のちび太に次ぎ、篠原家にやってきた2代目ジャックラッセルテリア。トイレトレーニングを修了したが、現在は郵便配達員さんに吠えないためのトレーニングに移行中。2021年9月生まれ。北海道恵庭市出身。

※ 役員及び常勤職員のみ掲載しております。このスタッフの他、業務提携するスタッフを含め、総勢11名と1匹で各種の業務を行っております。

8. ご支援（会員登録）のお願い Support

当法人の活動にご賛同いただける会員を募集しております。

会員の皆様には当法人が行う各種事業の詳細について情報提供を行うほか

当法人が主催する研修会の参加費に会員割引が適用されます。

会員（個人・団体）会費 一口 10,000 円／年額

これからも **Wellbe Design** をよろしくお願いいたします。

一般社団法人 Wellbe Design 会員規程

（目 的）

第1条 この規程は一般社団法人 Wellbe Design（以下、「当法人」という）定款第5条に定める社員と区別し、当法人の目的に賛同し、賛助の意志を持つ個人及び団体について必要な事項を定める。

（定 義）

第2条 この規程で定める会員とは、次の2種とする。

- （1）個人会員 当法人の目的に賛同し、賛助の意思を持つ個人
- （2）団体会員 当法人の目的に賛同し、賛助の意思を持つ団体（法人格の有無を問わない）

（入 会）

第3条 当法人の会員になろうとするものは、所定の入会届に必要な事項を記入して理事長に提出し、理事会の議決による承認を得るものとする。

（会 費）

第4条 会員は以下の会費を納入しなければならない。

- （1）個人会員 10,000円／年
- （2）団体会員 10,000円／年

2 前号で定める会費は入会時から当該年度末を期限とする。

（権 利）

第5条 会員は当法人が主催または対応した各種事業に関する情報を得ることができる。

2 前号で定める事項について、個人情報や著作等における保護が必要と認められる場合は、当法人により制限を設ける場合がある。

（資格の喪失）

第6条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- （1）退会届の提出をしたとき
- （2）本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき
- （3）正当な理由なく会費を滞納し、督促をうけても1年以上納入しないとき
- （4）その他の事情により理事会において会員の資格の喪失が必要と判断したとき。ただし、その会員に対し、資格喪失の事由を明らかにし、必要に応じて弁明の機会を与える。

（退 会）

第7条 会員はいつでも理事長に退会届を提出して退会することができる。

2 年度途中で退会となった場合、既納の会費は返還しない。

（細 則）

第8条 この規程の変更または施行に関し必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附 則

1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(会員規程 様式1号)

入 会 届

一般社団法人 Wellbe Design 理事長 宛
 会員規程に基づき、以下のとおり入会を希望します。

会 員 種 別	<input type="checkbox"/> 個人会員 <input type="checkbox"/> 団体会員	申 込 日	年 月 日
お 名 前 または 団 体 名	(加)		
	印		
(団体の場合) 代 表 者 職 氏 名	(加)		
	印		
【A】 住 所 等 連 絡 先	※個人の場合は自宅住所を記入		
	〒		
	電 話		
	F A X		
【B】 (個人の場合) 勤 務 先 名 称 連 絡 先	〒		
	電 話		
	F A X		
	Eメール		
生 年 月 日 (設立年月日)	<input type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 西暦 年 月 日	送 付 物 の 郵 送 先	<input type="checkbox"/> 送付先【A】 <input type="checkbox"/> 個人宅【B】
入会の理由 または メッセージ			
法人記載欄	<input type="checkbox"/> 申込書受理日	年 月 日	【付記】
	<input type="checkbox"/> 入会承認日	年 月 日	
	<input type="checkbox"/> 初年度会費納入日	年 月 日	

9. 事務所在地 Office

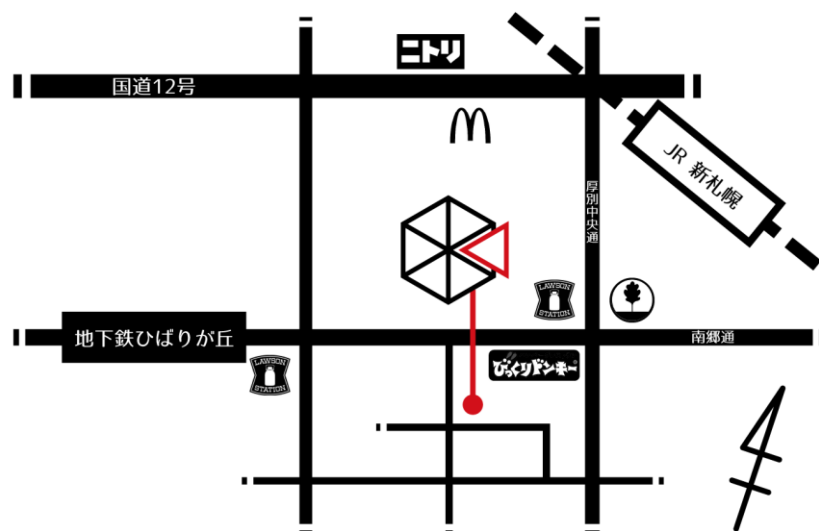
〒004-0022 北海道札幌市厚別区厚別南2丁目7番28号

電話 011-801-7450 FAX 011-801-7451

URL <http://www.wellbedesign.jp> E-mail info@wellbedesign.jp

営業時間 平日 10:00~17:00 (年末年始休業 12月31日~1月5日)

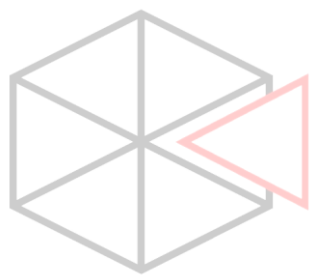
事務所在地・MAP



地下鉄：東西線ひばりが丘駅3番出口 徒歩3分

J R：新札幌駅 徒歩15分

お 車：札幌南ICから5分



Wellbe Design